

一の宮っ子

第26号

発行
一宮市児童育成連絡協議会
事務局
一宮市社会福祉センター
思いやり会館内・2階
一宮市桜1丁目12番1号
TEL・FAX 0586-73-0356
ホームページアドレス
<http://home.owari.ne.jp/~jido-ren/>
平成26年3月27日

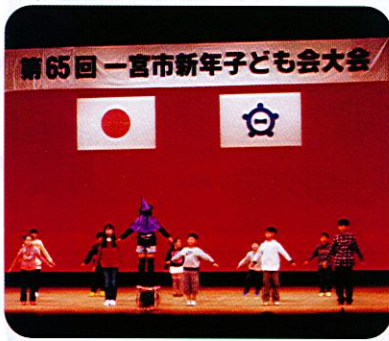
新年子ども会大会

あそびの発表

大徳連区 西五城南子ども会
五年 永尾 涼真

一月十一日、一宮市新年子ども会大会にほくたちの子ども会が参加しました。一宮市民会館につくと、会場の広さを見て、すごきんちようしました。

ほくたちは、第三部で遊びの発表に出演しました。それは、「生き残りゲーム」です。一年生から六年生の十六名みんなで遊びを発表しました。「生き残りゲーム」とは、まず○×△の動作をしてリーダーと向かいあいます。そしてみんな



▲ みんなで息を揃えて

僕たち小原子ども会は、新年子ども会大会で、あそびの発表をすることを聞き、みんなで発表することになりました。まず、考えたのが、「空缶積みゲーム」だったのですが、空缶を積んでいくだけでなく、クイズを取り入れようということになり、さらに、会場の方にも楽しんでもらえるように一宮市に関するクイズを役員の方々に考えてもらうこと

開明連区 小原子ども会
六年 花田 怜大

よい経験をさせてもらいありがとうございました。

「○×△：今でしょ」と言った次に「○×△」の動作を行います。リーダーと同じものを出した人が失格となりすわります。こんな遊びを発表するために、役員さんとはくたちみんなで、集まって練習してきました。「練習いやだな」。出演したくないな。なんて、思ったこともあったけど、大きなぶ台でみんなで力一つとなって発表したこと、これからのほくの自信につながると思っています。本当に



▲ どきどきするね

にしました。

練習をしていく中で、限られた時間内に発表できるように、積み上げる空缶の数を工夫したり、観客の方に、わかりやすくするには、どうしたら良いかを考えながら、ルールもいろいろ悩みながらみんなで作りに上げていきました。

当日、午前中のリハーサルでアドバイスをいただき、とても緊張しましたが、本番はドキドキしながらも楽しくしつかりと発表できました。

新年子ども会大会は、僕たちにとって、良い経験となり、楽しい思い出になりました。

木曾川町連区 丸町子ども会
六年 千石 悠加

私が一番に残ったのは、皆と練習してきた演技が上手くできたことでした。

練習を始めたのは、去年の十月でした。公民館に集まり、練習をくり返すたび演技にま



▲ みんなを楽しませれるかな？

とまりが出てきました。そして、大会当日、会場の広さに圧倒され、一階も二階も観客席は満席で、すごきんちキドキしました。私も、一人でゲームの説明をする所があり、間違えてしまわないか、早口にならないように話すことが出来るのか、心配でした。

私達が紹介した遊びは、「コインはどの手に？」と「バルーンリレー」でした。いよいよ本番、一つ目の紹介が終わりは「バルーンリレー」。風船を新聞の上に乗せて、落とさないように二人で運ぶ遊びです。その演技中、ステージから風船が落ちそうになるハプニングがあり、あわてて手を伸ばした姿に、観客席から笑いが起きましたが、最後まで、皆と一緒に発表することができて、良かったです。

終わった後、観客席にみなさんの拍手がとてもうれしかったです。

かべ新聞 優秀賞

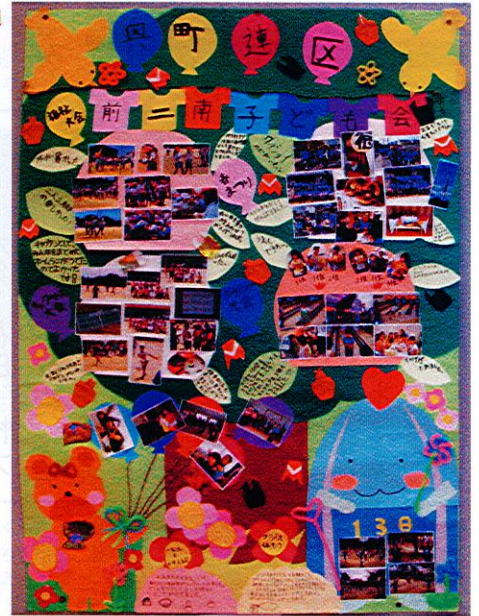
萩原町連区 築込子ども会
六年 鶉飼 高弘

ぼく達、築込子ども会は萬葉公園ホテル飼育活動について壁新聞づくりをしました。

ぼくの子ども会は、わずか十九人しかいませんが、毎年二回ホテルの会のおじさん達と小学校のボランティアのみなんで力を合わせて大きさによってせんべつをします。このあとには公民館でホテルについての勉強会があります。ここでは、ホテルの会の人達が説明してくれて、最後には、ホテルについての質問ができます。こうしたことをもとに壁新聞を作っていました。

最初は一人ひとり、この活動に参加した感想を書いてもらい、そしてそれと、自分の顔写真を壁新聞の面用紙にはっていききました。みんながんばって活動したことが、絵と文字でしっかり伝えることができました。

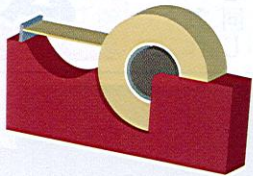
この築込子ども会みんなで作った壁新聞が賞に入ったときは、びっくりしましたが、とてもうれしかったです。みんなのいい思い出ができました。



奥町連区 前二南子ども会
六年 川口 智也

ぼく達、前二南子ども会は六年生が中心になって、かべ新聞を作りました。最初はみんな、なにをする

のか分からず、友達と遊んでいましたが、役員さんが、「子ども会の活動を新聞にするんだよ」と教えてくれたので、遊ぶのを止めて一生懸命がんばりました。それから、折り紙を折ったり、色画用紙を切ったり、はりつけたりして、作っていくうちにだんだん楽しくなってきました。写真は、行事のたびに、さつえいしてくれていたもので、たくさんおのせることができました。写真の周りには、それぞれの行事の感想を書いたので、写真と一緒に見ると、ぼく達の活動の様子がよく分かると思います。こうした工夫と、みんなのアイデアで、とてもカラフルです。できなかべ新聞を作ることができました。六年生は、今年が子ども会最後なので、みんなで作ったかべ新聞が優秀賞に選ばれて、とてもうれし、いい思い出になりました。



今伊勢町連区 東茶原子ども会
六年 今枝亜莉沙

私の子ども会は、一年生から六年生まであわせても十九人しかいません。だから壁新聞も、最初どんな物ができあがるのか想像できませんでした。

毎年、六年生が中心なので今回自分たちが中心となってちゃんと物ができ上がるのか不安でした。だけどみんなで切り紙したり、折り紙をはったりみんなで楽しく作る事ができました。

少ない人数だからこそ紙いっぱいみんなの好きなお母さんのおはりのメニューを書きました。みんなのお母さんのおいしそうなおメニューがたくさん出ました。

壁新聞はテーマを決めるのに苦労しました。母といちみんなにしようと思った時にはホッとしました。

とてもかわいくできたのでみなさんにほめてもらえて、うれしかったです。一生懸命、みんなと作って良かったです。





貴船連区 東小島子ども会

六年 林 ユウナ
五年 谷口 舞帆
五年 表 希美

私は、かべ新聞を作ると聞いた時、やりたくないな、上手く出来るかなど不安で一杯でした。

私達のかべ新聞は、行事の写真のまわりに切り絵を貼ったり、みんなであつたいちみんのぬり絵を貼ったり、スプレーで色をぬったり工作の作業がたくさんありました。

私は工作が元々好きなので、切り絵や折り紙はとも楽しかったです。

六年生が細かいきり絵を作ってすごいとおどろきました。

行事についてコメントを考えるのに苦労しました。

写真を見ながらどの枠がいいかとか、どのあたりに貼るかとか、こんな事もあったなとか、みんなでお話し合ったりするので、まるで遊びに来ているようで、とても楽しかったです。

かべ新聞が出来上がって、やってよかったなと思いました。なぜかという、新聞作りの楽しさが分かったからです。

何事も挑戦という言葉がありますがその通りです。これからも色々な事に挑戦してみたいです。



葉栗連区 杉山仲よし子ども会

六年 今井 柚菜

私は、かべ新聞の題材について、何がいいか考えていたときです。父が、杉山の歴史について教えてくれました。

父の話によると、昔、氏神様のほらの裏に、クスの木があったということでした。

私はクスの木のイメージがつかみませんでしたが、母が二言いました。「まるでトトロみたいだね。」と。

そこで、杉山の六年生みんなが集まった時、題材の話になったので、私はすかさず「トトロはどう？」とみんなに聞いてみました。すると「なぜトトロなの。」と聞かれたので、父が話してくれたことを、みんなに伝えました。この案に、みんな賛成してくれたので、この題材に決まりました。

題材が決まったので、いよいよ次は、制作です。制作をする時にも、みんなでいろいろなアイデアを出し合いながら、試行錯誤しながらやりました。その中でも、一番やんだのがトトロの体で、外側は灰色ですが、絵の具でぬるのはつまらないので、何か面白い表現方法はないかと考えていたら、丁度、葉栗地区担当の中日新聞販売所が、杉山にあるのを思い出し、新聞をちぎって、トトロにはいることにしました。

このように、いろいろな工夫を重ねながらみんなと楽しくかべ新聞を作り上げる事ができました。

その結果、このような賞をいただく事ができて、とても良い経験と楽しい思い出ができました。ありがとうございました。

福祉とボランティア活動展

起連区 こまどり子ども会

五年 山川 颯斗

最初は、知っている友達がいなくて一人で回るのがいやで行きたくなかったけれど、いろいろなことをやっていたら楽しくなりました。

クイズラリーでは、いろいろなクイズをやりました。

「忍者になりきろう。」というコーナーでは、いろいろな道徳のゲームで、スタッフの人がやさしくヒントをくれたり説明してくれました。とても分かりやすく楽しく出来ました。

クイズの途中で、ガイドヘルパーの人と目の見えな役の人が、階段を上っていたのを見て、しょうがいがある人は、いろいろなことが大変と言うことを感じました。

工作では、ビュンビュンゴマは少しむずかしかつたけれど、色をぬって回してみたら、上手に回ったのでうれしかったです。

バルーンのコーナーでは、自分で出来ないと思つたので、ボランティアの人にピグミンと花のハルを作ってもらいました。

市子連の壁新聞には、いろいろな行事の写真がはつてあつたりおり紙で見やすいように工夫してありました。

ボランティアの人やスタッフの人はいろいろと大変だと思いました。また来年も参加したいと思いました。



▲ みんなの活動を楽しんで知ることができたよ

分科会まとめ

高一 松尾 美月

私は、九月十四日から十六日の三日間を使って、ジュニアリーダーとしての心構えを学んできました。

一日目はレクリエーションゲームの進め方の講義を受けた後に体育館へ移動して実際にレクリエーションゲームをしました。講義で学んだだけでは分からなかった事が学べて良かったです。

二日目は、野外活動を行いました。薪から自分達で用意するのは初めてだったので、薪を割るときはドキドキしました。ご飯を飯盒で炊く時は火が上手く着かなくて苦戦しました。だけど薪の向きを変えたら上手く着いたので良かったです。ご飯が炊き上がった後はおにぎりにして食べました。お焦げもなくてとてもおいしかったです。

三日目は、チームに分かれて軽スポーツ活動をしました。ドッチビーなどいろいろなスポーツをして汗を流しました。軽スポーツ活動の後の理論では、熱中症の応急処置の仕方などを学びました。この三日間で私はいろいろな事を経験し学ぶことができました。今後は、その学んだことをジュニアリーダーの活動に役立てて行きたいと思っています。

会長・指導部長・指導者代表研修会

大志連区常念子ども会
指導者 伊藤 恵

代表研修会に参加させていただき、様々な子ども会の話聞くことができました。どの子ども会の話も大変参考になりました。なかでも印象に残ったのは次の二つの意見です。

「高学年になると退会者が出るのを防ぐため、子ども会を途中退会しないことを規約に取り入れた。」「事前に一つ一つの行事の目的、意義などを説明することによって、子どもたちが行事に向きに参加したり、感謝の気持ちを持つようになった。」

このような研修会で得た情報は、次年度の指導者へ伝えていきたいと思っています。また、この研修会を通し、改めて重要だと感じたことは「子ども会は子どもたちのためのものであり、大人主体ではなく子どもを中心に考えなくてはならない」と、「地域との関わりの大切さ」です。



▲ 活動を支えるためには

年は終わりましたが、子ども会活動を続けていく上で、「子ども中心」の気持ちを忘れず、また、自分の子どもたちの卒業後も「子どもを大切に」する気持ちを持ち続け、地域の一員として関わることができたらと思います。

萩原町連区高松子ども会
指導者 広瀬 千尋

代表研修会に参加して、さまざまな子ども会の現状、問題点、意見などを聞くことができ、良い勉強の場となりました。社会変化により、共働き家庭が増え、仕事と役員の仕事の両立による負担が大きくなり、それに伴い、途中退会者が増えること、はじめから入会しない家庭が増えている現状がありました。また習い事等による、子ども会行事の参加率の低下。どの子ども会も同じような問題点がありました。

これからも、よりよい子ども会も続けていくためにも、父親の子ども会行事への積極的参加の呼びかけ、周辺地区子ども会との連携を図るなど、周りへの働きかけ、社会変化に応じた柔軟な対応が大切ではないかと思いました。子ども会の指導者としてやってきたこの一年、何事もなく終わることができたのは、たくさんの方の支えがあったおかげです。指導者としての役目は終わりましたが、これからは支えていく立場となり子ども会を見守っていききたいと思います。一年間ありがとうございました。

分科会まとめ

良かった点

- 子ども会活動を通して、指導者としていろいろな面で成長出来た。
- 子どもの笑顔を見るとやってよかったと思えた。
- 子どもにあいさつをさせコミュニケーションを図るようになった。
- 「ゴミひろいをさせたら、お年寄りと交流できるようになった。」
- 六年生が行事のプログラムを決め行ったら、みんな楽しく参加できた。

問題点

- 子ども会に入会しない子が増えてきている。
- 子ども会の人数が増え、予算が少なくその中で行事を行うのが大変だった。
- 行事を考えるのに苦労した。

助言

- 子ども会をまとめるのは大変だが、「子ども会は子どもたちのための子どものよる子ども会」なので、まず指導者が楽しんで、その楽しさを子ども達に伝えてくれたらいいと思う。



表彰

去る十一月九日、愛知県子ども会連絡協議会の表彰式が名古屋市公会堂で行われ、次の子ども会が表彰されました。

- 県知事表彰
大和町連区 花池子ども会
県社協会長表彰
神山連区 昭和二丁目子ども会
浅井町連区 大日比野子ども会
県子連会長表彰
西成連区 明星子ども会
今伊勢町連区 大聖子ども会
千秋町連区 佐野子ども会
小信中島連区 二ツ屋北子ども会
木曾川町連区 内割田子ども会

行事予定

○一宮市子ども会指導者研修会
4月26日(土)
一宮市民会館

編集後記

一年間の広報活動を通し、様々な子ども会の活動を知ることができ、楽しい活動でした。子ども会行事の原稿をお寄せいただきありがとうございました。(木下葉子)

広報委員

- 宇野 笑子・田中比登美
大野 弘美・吉村 正恵
木下 葉子